（1）　昭和21年6月1日（除月曜）第三種郵便物認可　昭和24年2月23日　運輸省特別扱承認第38号　いわき民報　夕刊　昭和27年10月28日（火曜日）　第1978号

夕刊
いわき民報

発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼発行印刷人 田原登

三高校とも一勝一敗

優勝旗 来春までお預け

熱狂したきのうのリーグ戦

県高校野球連盟主催、平市、石城スポーツ連盟並に本社後援の平市内三高校野球大会秋季リーグ戦は春季平工優勝のあとを次いで二十六日午前九時から磐高球場に華々しく開幕された、この日風はやゝ冷たかつたが秋空晴れて絶好のコンデイシヨン、シーズン最後の今大会を待つていた野球ファン千余名は早朝から詰めかけていた、定刻九時には春季優勝校平工を先頭に平商、磐高ナインが堂々と入場した、平工から優勝旗が返還され、野沢本社社長から『本年の棹尾を飾り来年の甲子園めざして奮斗せよ』と激励の挨拶、次いで平工笠井主将が『スポーツマンシツプを発揮し正々堂々と斗う』と宣誓、佐藤審判長からゲーム上の注意があつて午前十時野沢社長の始球式で第一試合の幕は切つて落された、各校ナインとも母校の名誉をかけて普段の精進の限りを盡して白熱した試合を展開、商月台上の白球を追う一大絵巻は完全にファンを熱狂させた、試合は新人戦だけに実力伯仲し勝敗は全く余断を許さず三高校一勝一敗となり雌雄決せず本社優勝旗は来春までおあずけとなつた

▽**第一試合**（午前九時三十分）＝平商先攻佐藤（主）水竹（孝）（一）水竹（伊）（三）

平商　001 000 200　3
磐商　001 000 000　1

根本、堀川—吉川（商）下山田、吉田（磐）—涌井、室田（磐）▼二塁打、大内（商）

（**戦評**）両軍とも三回に一点を挙げ前半で一角の試合を進めたが大回表に球威の落ちた下山田投手の直球を大内（平商）が三塁右を抜き痛烈な三塁打と四回裏から登板した堀川投手の好投で勝を収めた、新人根本投手（平商）は打者の手もとで浮き上るインシユートがよく極まり三回表磐高内野の乱れと投手の制球難に良く一点をあげればその裏磐高もへき頭涌井がファスト前安打、岡崎も左前安打、庄子四球で無死満塁となり続く鈴木が左前に安打して同点とした、この回までは両軍互角だつたがそこで五回を除いて平商が毎回ランナーを出塁させ六回表には四球の堀川を一塁において大内が痛烈にレフト右を抜く三塁打をとばして堀川を生還、更に鈴木（祐のピツチヤー前バンドを下山田がハンブルする間に大内も生還して二点をあげ下山田を左アウトつた吉田（磐）をも満塁とおびやかした、また四回裏に無死から根本に代つた堀川投手は得意のカーブとインコース低目の直球のコントロールよく六インニング三分の一を最少打者十六人で打ちとる好投を示めし平商勝利を不動とし一勝を得た

写真　入場式と円内は野沢本社社長の始球式、磐商対平商三回戦裏鈴木（磐商）レフト前ヒツトを放つ瞬間、寒さにめげず詰めかけたファン

磐商		打	安	点	三	四	失
3 B	山崎	4	1	0	1	0	2
2 B	庄司	2	0	0	1	1	1
2 B	国井	1	0	0	1	0	0
S S	鈴木	4	1	1	1	0	2
P R F	下山田	3	0	0	0	0	1
C F	黒川	4	0	0	0	0	0
L E	川本	3	1	0	2	0	0
L F	志賀	1	0	0	0	0	0
R F	三浦	1	1	0	0	1	0
P	吉田	3	0	0	0	0	0
C	涌井	2	0	0	0	0	0
C	室田	1	0	0	0	0	0
計		29	4	1	6	2	6

平商		打	安	点	三	四	失
L F	鈴木	3	1	1	0	2	0
S S	深沢	2	1	0	0	3	0
C F	鶴沼	5	0	1	1	0	0
C	吉川	5	0	0	0	0	1
3 B	田倉	3	0	0	1	2	0
2 B	木村	4	2	0	0	1	0
P	根本	2	0	0	0	0	0
P	堀川	2	1	0	0	1	0
L B	大内	5	1	1	0	1	0
R F	岡田	2	0	0	0	0	0
R F	鈴木	2	0	0	0	0	0
計		35	6	3	2	9	2

▽**第二試合**（零時五十分）＝平商先攻、水竹（伊）（主）佐藤（一）水竹（孝）（三）

平商　000 000 000　0
平工　000 002 00A　2

布施—賀沢（平工）堀川—吉川（平商）

（**戦評**）平工布施投手のコントロールよく得意のアウトロとインコース低目をつく直球で平商打線を四安打に封じて十一個の三振を奪取して完封、更に攻めては六回裏のチヤンスをよくつかみ順当な勝星をあげた、まず平工は守つては好投を続ける布施投手を助けがつちりと守備陣をかため八回表二死ながら満塁のピンチもよくきりぬけさらに攻めては四、八の両回を除いては毎回走者を送つて塁上をにぎわし六回裏には小沼、笠井と四球が続き次いで布施の左前安打で無死満塁のチヤンスを五十嵐の左前安打で二点を挙げてものにするなど終始平商を圧した

平工		打	安	点	三	四	失
1 B	和田	4	1	0	1	0	1
C F	小沼	3	1	0	0	1	0
R F	笠井	3	1	0	0	1	0
P	布施	4	1	0	0	0	1
2 B	五十嵐	3	1	2	0	1	0
C	賀沢	3	0	0	1	0	0
3 B	飛田	3	0	0	0	0	1
L F	高木	3	0	0	0	0	0
S S	今井	2	0	0	1	1	0
計		28	5	2	3	4	3

商平		打	安	点	三	四	失
L F	鈴木	4	0	0	1	1	0
S S	鈴木	4	0	0	1	1	0
C F	鶴沼	2	0	0	0	2	0
C	吉川	4	1	0	1	0	0
3 B	倉田	4	1	0	1	0	2
2 B	木村	3	0	0	2	1	0
P	堀川	3	0	0	2	1	0
1 B	大内	4	0	0	2	0	0
R F	岡田	4	2	0	1	0	0
計		32	4	0	11	6	2

▽**第三試合**（午後二時五十分）＝平工先攻水竹（孝）（主）水竹（伊）（一）佐藤（三）

平工　000 000 120　3
磐高　000 000 013A　4

布施—賀沢（平工）下山田—室田（磐高）▼三塁打、布施（平工）▼二塁打、三浦（磐高）

（**戦評**）磐高はたしかに勝運のついていた試合だつた、九回裏二点をリードされその上二死の磐高がそれも平工布施投手に十五個も奪われているのに僅か一安打三個の四球で勝を得た、平工布施投手は対平商戦の完投の疲れもみせずますゝ快調、その快腕は実に三振十五という数になつて現われ更に平工ナイン連勝の意気盛んに攻めては七回表布施四球ののち五十嵐の三塁前バントは内野安打性の球となり一塁は間に合わず賀沢三塁に進塁しようとしたのにあわてた磐高吉田一塁手は三塁暴投して布施生還先取点をあげ更に八回裏にも和田センター前ヒツトで出塁、小沼の三ゴロで和田二塁に封殺されたが笠井二塁前に内野安打し走者一、二塁のとき布施左翼右を抜く大三塁打に二者生還して三点をあげ布施の好投と相まつて勝利を得たと思われたが磐高の打撃は八回に三浦の二塁打、下山田右前安打でまず一点をかえし、さらに九回裏には黒川が投補失策で出塁、山本三振のあと吉田四球、結城二補失で一死満塁となり期待された岡崎は三振で二死となつたが次打者三浦は選球よく四球を得ておしだしの一点をあげ更に鈴木の遊前内野安打で同点となつた、この頃には快腕布施投手も疲れはげしくボール数が多くなりあせつた賀沢捕手が三塁走者結城を牽制しようとした投球が悪投となり結城生還して勝ち越しの一点をあげ磐高は春以来のスランプを脱して九回裏二死後の劇的な逆転勝ちを得た

磐高		打	安	点	三	四	失
2 B	岡崎	5	0	0	5	0	0
R F	三浦	4	2	1	2	1	0
S S	鈴木	5	1	0	4	0	0
P	下山田	4	1	0	1	0	0
C	室田	3	0	0	0	1	0
C F	黒川	3	0	1	0	1	0
L F	山本	4	1	0	3	0	0
1 B	吉田	2	0	1	0	2	1
2 B	結城	4	0	1	0	0	0
計		[illegible]	5	4	15	5	1

平工		打	安	点	三	四	失
1 B	和田	4	1	0	1	0	2
C F	小沼	4	0	1	0	0	0
R E	笠井	4	3	1	0	0	0
P	布施	3	1	1	0	1	0
2 B	五十嵐	2	0	0	0	2	0
C	賀沢	4	1	0	0	0	0
3 B	飛田	4	0	0	3	0	1
L F	高木	4	1	0	0	0	0
S S	今井	4	1	0	0	0	1
計		33	8	3	4	3	4

ネット裏

▼…秋晴れの晴天に恵まれたとはいえもう十一月間近にせまつている二十六日は肌をチヂミあがらせるような冷たい風が商月台を吹きまくつて観衆を震えあがらせたがただそれだけのことで白熱したゲームを見逃がしてなるものかと日向を追いながら見物し誰一人帰るものもない盛況振りだつた

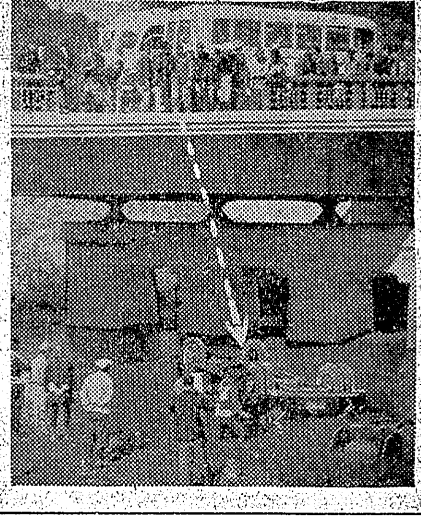
▼…平工布施投手のドロツプはまさに懸河の如き観があつた、日支事変で戦死した日本プロ球界不世出の名投手沢村選手の再現とも思われ老ファンは有りし日の沢村を思い出してか一球々々食い入るように見ては『あの球だ』『無人の境を行くようだ』と感嘆昔日を懐かしがらせていた

▼…その布施投手もまたコントロールよく至難といわれるドロツプカーブを逆投し、あれよあれよと見ているうちに相手打者をなぎ倒し対平商戦は十一個、対磐高戦は敗れたとはいえ十五個で合計実に二十六個の三振を奪取し、ことに磐商の一番打者岡崎君は五打席オール三振という有様で遂にスタンドから三振五ネームを頂だいする始末だつた

▼…第三試合の平工対磐高戦は最終戦にふさわしく最終回に二死後の磐高逆転勝ちという劇的幕切れとなり、平工ナインをして一様に『損した』とつぶやかせたがその工業高の勝はついていなかつたようだ、何故ならば九回表に飛田三振で二死後高木が中前に安打して出塁したのはよかつたが次打者今井が遊飛で二死となるとなにを思つたかノコノコと自軍ベンチにとおのき出した、それを見た磐高軍は好機とばかり一塁投球、アウト、チエンジはほんとおソマツでした

消防ポンプ橋から転落

二十六日午前十一時四十分ごろ内郷町小島地内尼子橋上で内郷町消防団ポンプ自動車＝運転手佐藤良一さん（三）＝が平市から帰る途中運転を誤つて橋の欄干に激突、コンクリートの欄干を突き破つて凡そ八米下の新川に転落自動車を大破したが佐藤運転手は転落の瞬間飛び降りたゝめケガはなかつた、内郷地区署で原因を調べているがスピードの出し過ぎではないかと見られている、ポンプ自動車は内郷町の火防訓練に参加した佐藤団長らを乗せて平市まで送つて帰る途中のもので同乗者は全部平市で降りてしまつたので難をまぬがれた、なお転落したポンプ自動車は同日午後三時ごろ内郷町消防団員ら凡そ八十名と平からの応援で引揚を完了した（写真は事故現場）



天気予報

二十七日

【今晩】北東の風くもりで後いくらか小雨模様
【明日】北東のち北西の風始め雨ですが後晴れ間出る、海上今晩遅くから明日にかけて北西の風が強く風波が高まる　明日明後日にかけて北西の風が強く波立つ見込み

奉忠院　葬送の際は御多用中の処遠路態々御会葬下され御丁重な御弔辞御香料を賜わり御芳志の段誠に有難うございました
早速参上いたし御礼申上ぐべきところ略儀ながら紙上にて御礼申上げます
昭和二十七年十月二十七日
平市紺屋町土橋通り
父　柏原義一
兄　柏原信一
親戚総代　坂本直吉

金屋商店の
スラグ
イワキセメント
電九九九　九九九　六五一

祝　日本専賣公社製鹽工場落成

挨拶
小名浜町長　水野政次郎

日本専売公社製塩工場の落成式に当り紙上より各位に御挨拶を申上げます
昨春、日本専売公社が当町を製塩工場の候補地として選定したことをもつて、町は急拠これを町議会に諮り協賛を得て以来、議員をはじめ町民各位の絶大なる御協力を得て強力なる運動をなしたる結果、全国の各候補地に先じモデル工場として本町設置が決定し、昨秋その起工式を挙げたのであります爾来建設準備委員会野口事務局長のたゆまざる御努力に依り最も困難なる冬期間の悪条件も克服し見事その建物を完成し、鋭意内部設備の工を進めて居りましたが、此の程完成を告げましたことは邦家百年の大計の為誠に慶賀に堪えない処であり、心から祝意を表するものであります。当工場は従来の製塩方法と異なり多年専売公社の研究の精華であつて、世界に冠たる加圧式電気製塩法を採用、近代化学の粋を尽した建物と機械設備を有し本町に一大偉観を加え先般来の試験操業の結果は予想以上の優秀塩の生産に成功、只見川の電源開発と相まつて一大拡張をなし東北六県の全需用を賄う計画案もあると聞いて居ります。本町は県内唯一の商港として且つ数十万坪の工場敷地を有し地質の上より見るも東北に類を見ざる最優秀なものであり、日平十五ボルト送電線の完成と鮫川水利の開発による工業用水の確保、加うるに豊富なる常磐炭田を有し全国まれに見る工業地であるとは識者の等しく認めるところであります。先見の明ある故小野町長は工業都市建設を町是とした日本水素工業会社の誘致に成功して以来、港湾修築の完成化と相まつて異状なる躍進を遂げつゝあり、本町は飽くまで工業都市建設を目ざして町民各位の御理解ある御協力のもとに邁進する考えであります。終りに当工場の隆昌発展と従業員諸氏の御健闘を祈念いたしまして今日の喜びの御挨拶と致します。

祝　日本専賣公社製塩工場落成
小名浜町高山三四
小名濱埠頭株式会社
取締役社長　鈴木英雄
専務取締役　石津吾一

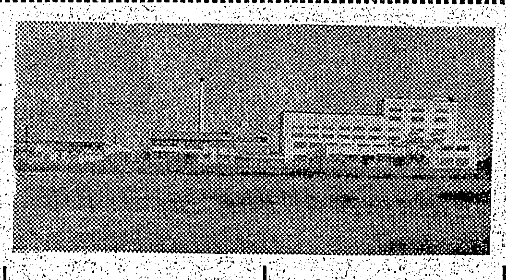
日本専売公社製塩工場の完成を祝福致します
小名濱臨港鐵道株式會社
社長　浦田文三郎
常務　眞木弘
総務部長　小野信一

祝　日本専賣公社製鹽工場落成
議長　長瀬彰義
副議長　馬上富一
比佐政穂　西丸猛　高木嘉一郎　飯田宗秋
野崎貞行　小野直千賀　木田谷平　鈴木イセ
林林平　小松勇吉　小林仁一郎　飯塚新四郎
木村祐　長瀬啓一　斎藤誠吾　松原文吾
菅原勘　箱崎滝三郎　金沢勉　立花秀吉
飯塚勝　藤社大一　小野務平　橋本佐多寿

祝　日本専売公社製塩工場落成
県会議員　小野義一

日本専売公社製塩工場の落成をお祝い申上げます
小名濱観光協會
会長　佐藤政治

祝落成
日本専賣公社平出張所
所長　本多實
平市小太郎町18　電686 1246



豪華繪巻を繰り展ぐ

花柳流舞踊會

花柳流代蔵師匠在平二十年を記念する花柳流舞踊会は平芸妓屋組合平料芸組合の芸妓、登柳会、おどる座など舞子六十数名の出演と東京から杵屋連中の共演を得て二十五、六の両日午後一時から平市公会堂で公開、古典の優雅なしらべに合せて豪華な舞踊絵巻きを繰りひろげ二日とも会場ぎつしりに埋めつくした観客を魅了し盛況を極めた（写真は大舞踊会の一コマ『将門』の場）

中小二十四炭鑛もけさストに突入

長期に耐えられず波状攻勢

常磐炭労傘下二十四炭鉱、（二十五労組）五千四百二十名は二十七日朝一番方（午前六時）から二十四時間ストに突入した、常磐、古河好間、向洋の三大手筋は既に十七日から無期限ストを実施中でこれを加え常磐地方は一万五千名（保安要員をのぞき）がストに参加した、二十四炭鉱のストによる一日の減炭が四千二百屯で三大炭鉱を加えザツト一日一万五百屯と東部鉱連ではみている

常磐炭労では十日以降賃金要求に対する最後的回答を二十五日迄の期限付で要求中だつたが二十五日の第十回団交の回答が不満のため決裂するに至つたもの、常磐炭労では二十七日午前十時から最高戦術委員会を開き今後の斗争対策に就き審議、第二波、第三波の波上ストを決定した模様である、三大手筋を除いた常磐地方ブロツクのストは中小炭鉱とあつて大手筋の如く長期斗争には耐えられず波状ストによる長期斗争の形をとる模様である

小窩炭鉱の如く月産百屯、従業員三十五名や新広野では九月の坑内出水で経営事情も悪化している等労使相方の大きな犠牲を要するため常炭労最高戦術委員会でも慎重にこれらの客観情勢を加味して今次斗争に臨んでいる、すでに『今次ストは長期に亘る』との情況から組合員の中には脱落的気分も生じている向きがあり常炭労教宣部では躍気の斗争強化運動に乗り出し各山もとに教宣部員が出張し今次斗争の重要性を力説している

スト突入炭鑛名

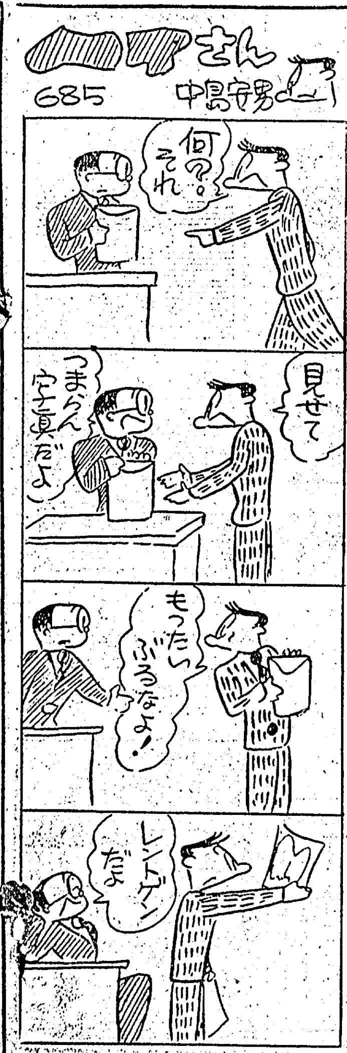
スト突入炭鉱次の通り

隅田川 品川赤井 多賀川部
久之浜 石川 浅倉 木戸 小
塙 新広野 常磐茨城 上田
童内 山口 高萩 関本 常磐
合同 穂積 望海 東亜 常葉
俵 杉本 須藤 東

拳銃持つ警官隊がけさ"五郎八"を包圍

泰山鳴動して鼠一匹

二十七日早朝、平市三十米道路上の南町の一角は拳銃を擬した数名の警官隊とやく五百の野次馬で黒山の様だつた―これは同日午前二時ごろ市内南町カフエー業『五郎八』から『いま十四年式拳銃と実弾二十発を持つた若い男が泊り女の子に突きつけておどかしています』と電話があり"それ一大事"とばかり平市署では署員を動員金田司法主任の指揮で手に手に拳銃をかまえ『五郎八』を包囲したが何せ相手も拳銃を持つているというわけで無茶な踏んごみも出来ず朝七時ごろまで警戒そのとき連絡で伊藤次席が出動『おとなしく降りてこい』大喝一声、それも手ぬるしとみて踏み入つてみると何とその男は部屋の片角で震えていた早速同人をコマンドカーで平市署に連行、留置して取調べたところ小名浜町栄町瀬戸物商石川清（三四）で刃渡十糎ほどのジヤツクナイフを持つていたが『泰山鳴動鼠一匹』といつたわけで幕となつた


685
中島安男
何？それ
見せて
つまらん写真だよ
もったらぶるなよ！
レントゲンだよ

水曜は休電

電氣制限始まる

東北電力平営業所では最近の電力不足を制限するため一般家庭へは毎週水曜日（午前七時十五分より午後五時まで）を休電、大口電力需要家へは十五乃至二十パーセントの制限を実施、特に毎日の夕刻時（五時から九時まで）は電気使用、一般家庭並びに工場などの電熱器、動力の使用は制限するよう懇請している

日平線完成

祝賀式舉行

日平十五万ボルト送電線及び平変電所の竣工式は二十六日正午から石城地方事務所会議室に常磐炭鉱大越社長、大平県議員など来賓百名、会社から白河副社長、尾崎福島支店長が出席して開かれ副社長の挨拶、大越社長、野崎会頭らの祝辞があつて午後四時閉会した

湯本の添田氏

醫學博士に

湯本町診療所勤務内科医添田武雄氏（三三）は十月二日附でこのほど博士号を贈られた、去る三月千葉医大に提出した『神経の陽性開放刺戟について』という電気生理学の論文がパスしたもの、添田氏は昭和二十年昭和医大を卒業し六年間同医大研究室に勤務し五月に故郷に帰つて来たもの

あす鐵道の夕

鉄道開通八十周年記念『鉄道の夕』は廿八日午後五時半から市公会堂で開く

ラジオ JOHQ JOKZ

（28日）

前七・一〇 ラジオ談話室（対談）国体こぼれ話 新聞記者
前一〇・二五 学校放送小学校第二部『楽しい音楽』伊達郡伊達町小学校ほか
前六・四五 平若松通信 菅野芳夫
後七・三〇 放送劇

待望
世界に誇る
家庭用 職業用
シンガーミシン
最新型新輸入發賣開始
（部分品豊富取揃）
シンガーソーイングCO.
福島縣指定販賣店
平・二・電1232
石川ミシン商会

第四回 当選番号
クロバー定期
各組通じて一本 第7組
特賞10万圓 13421
一等1万円 十九本
下四桁 3421 8260
二等1千円 二十本
下四桁 1356 6236
三等5百円 八十本
下四桁 1686 3034 4162 4744
5285 6170 6925 7105
四等 百円 五百本
下三桁 195 371 539 726 949
五等 36円 五千本
下二桁 20 30 33 46 83
六等20円20銭
以上当選番号以外の番号全部
平市二丁目28 ヨクサン
平信用金庫（電493）

品質最高
日本唯一の輸出品
あみもの機械
平デザイナー（土橋電四八九）
昼夜講習
入会随時

天婦羅 天金

あかや の ネクタイ

サロンつきの若き知的女性を求む
（高校卒）履歴書持参御来館下さい
委細面談の上
湯本温泉 松柏館 電話五番

21…27日
交通安全週間
＝交通安全＝
（人は右 車は左）
交通安全協會内郷支部
内郷地區警察署

恐妻いわく帽子は女がかぶるもの
男帽子を尻目にこの夏、婦人帽は大流行でしたが秋に迄この勢は持ち越されベレーの変化した、クラウンの浅い流行型が颯爽と街々を縫つています
●最新型婦人帽
●クロツシエ 八七〇円
●フエルト 一〇五〇円
●クログレン 一一五〇円
小名浜
平市
藤越

御買物は・平専門店會・會員の店 御買物は・平専門店會・會員の店 御買物は・平専門店會・會員の店 御買物は・平専門店會・會員の店

御禮

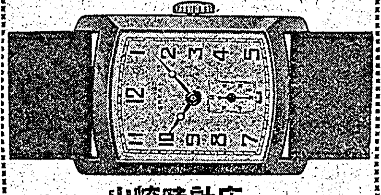
今回の招待発出しに当りましては絶大なる御支援を頂きまして厚く御礼を申上げます今後共何卒宜敷く御引立のほど御願い申上げます

★特賞熱海箱根御招待左の五〇名様は本日出発致す事になりました（敬称略）

平専門店會

平市 塩田秀子 猪狩ユキ 片倉ヒデ 吉田博 吉田幸 武田潔 松本宏 佐藤ミチ 叶多正敏 阿部光治 馬目セイ子 山野辺吉夫 阿部千鶴 和田通 高橋トミ子 森山隆行 橋本秀子 藁谷ヤヨイ 鈴谷トヨ 小峰道雄 福尾健治 大竹武 鈴木道子 後藤寿郎 作山喜久代 菅野剛 草野愛子 山崎ヨウ 佐藤稜義 武田タカ子 佐々木芳子 水野秀吉 若松キシ 根本裕之 山崎義三 菊地利子 菅野忠 鈴田善枝 前田千秋 前田リエ 水合八ツノ 岩間欧次郎 宮川一 岡田タカ子 鈴木ミツ 高羽篤 石島操 鈴木民子 豊田善三 猪狩文二郎

沢渡村 江名町 渡辺村 内郷町 湯本町 植田町 豊間町 赤井村 勿来町 木戸村 大浦村 広野村 草野村 好間村 四倉町 小名浜町 久之浜町

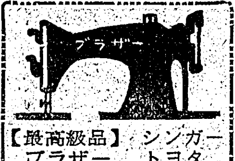


時計 眼鏡 山崎時計店 平5電991

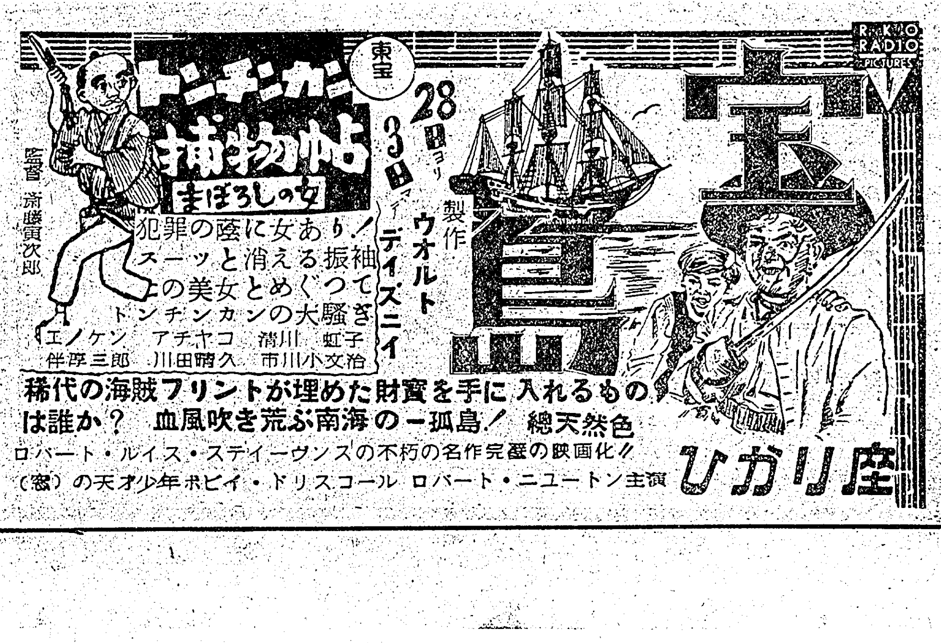
産婦人科 平市向鎌田 松本醫院

大谷石 井上

かっぽう 開花



【最高級品】 シンガー ブラザー トヨタ デユーキ パイン
石川ミシン商會
平市2丁目 電1232



東宝
トンチンカン捕物帖 まぼろしの女
監督 斎藤寅次郎
犯罪の蔭に女あり！スーッと消える振袖の美女とめぐつてトンチンカンの大騒ぎ
エノケン アチヤコ 清川虹子 伴淳三郎 川田晴久 市川小文治
28日ヨリ3日マデ
製作 ウオルト・デイズニイ
稀代の海賊フリントが埋めた財寶を手に入れるものは誰か？ 血風吹き荒ぶ南海の一孤島！ 總天然色
ロバート・ルイス・スティーヴンスの不朽の名作完璧の映画化！！
（窓）の天才少年ボビイ・ドリスコール ロバート・ニユートン主演
ひかり座

原爆の子
鞍馬天狗 一騎討ち
白銀に競う

暗闇にむせぶ戀慕の涙！凄艶の美女が握る！天狗心殺の刃！！
東京九月封切
鞍馬天狗 一騎討ち
嵐寛壽郎 宮城千賀子 河津清三郎
同時上映 白銀に競う
原健作 田中春男 清川荘司 鳩見千彰
特別料金100圓
28日より三本立
民劇
二度とこんなことはイヤ！！はじめて映畫が物語るヒロシマ惨虐のすがた
文部省特別選定
（高校 青年 成人向）
原爆の子
乙羽信子 滝沢修 清水将夫 宇野重吉 山内明
文部省選定『小学、中学向』